

2026 年度「学術研究者支援」贈呈式の実施について

株式会社クラフティア（代表取締役社長執行役員：石橋和幸）は、2026 年 7 月 14 日、ONE FUKUOKA BLDG.（福岡市中央区天神）において、2026 年度「学術研究者支援」贈呈式を開催し、3 名の研究者へ助成金を贈呈いたしました。

当社の「学術研究者支援」は、社会貢献活動の一環として、将来の事業発展に資する優秀な人材の育成および事業推進に有益な技術研究を支援することを目的に、2000 年より実施している取り組みです。本年度を含め、これまでに累計 60 名の研究者を支援してまいりました。

本年度は、代表取締役社長執行役員の石橋和幸より、以下 3 名の研究者に対し、それぞれ 100 万円の助成金目録を贈呈しました。

支援対象研究者および研究テーマ

- **井上浩一 教授（北九州市立大学）**
「大規模データセンター用沸騰冷却型コールドプレートの開発を目指した扁平流路内気液二相流動特性の解明」
- **眞家永光 教授（北里大学）**
「再生可能エネルギーを活用した遮光・酸素ナノバブル併用技術による富栄養化閉鎖性水域の環境修復に関する研究」
- **永岡章 准教授（宮崎大学）**
「災害時自立電源応用に向けた低温差高効率熱電変換デバイスの開発」

社長の石橋は「3 名の先生方は、いずれも社会課題の解決策を提示しようと取り組んでおられます。産業界と学術界の共創が日本の技術力および国際競争力の向上に繋がると捉え、当社も真摯に取り組んでまいります。」と、産学連携して社会課題解決を図ることの重要性について述べました。

クラフティアはこれからも、社会課題の解決に繋がる研究及びその研究者の支援を続けてまいります。

以 上

【贈呈式の様子】



挨拶をする当社社長石橋



挨拶をする井上教授（北九州市立大学）



写真撮影に応じる眞家教授（北里大学、写真右）



贈呈を受ける永岡准教授（宮崎大学）



（写真左から）

当社代表取締役社長執行役員石橋、井上教授（北九州市立大学）、眞家教授（北里大学）、永岡准教授（宮崎大学）、当社専務執行役員陶山